２０１８年（平成３０年）７月１１日　水曜日

デーリー東北　１０面　掲載

全国高校野球選手権記念 第100回 青森大会

◇第2日

第100回全国高校野球選手権記念青森大会第2日は10日、八戸市長根、青森市営、弘前市はるか夢、六戸メイプルの4球場で1回戦12試合を実施した。三沢が十和田工とのシーソーゲームを制してサヨナラ勝ちを収めたほか、七戸は青森東を5―2で下した。大湊はウルスラとの接戦をものにした。八戸工、八学野西、八戸西はそれぞれコールド発進した。

第3日の11日は、4球場で1回戦計11試合を行う。

（取材班）

きょうの試合

▽1回戦

【八戸市長根】
むつ工―五所川原（9・00）
八戸―青中央（11・30）
大間―名農（14・00）

【青森市営】
八高専―木造（9・00）
黒石商―五所工（11・30）
弘前南―板柳（14・00）

【弘前市はるか夢】
五所商―弘前（10・00）
工大一―三沢商（12・30）

【六戸町メイプル】
東義―柏農（9・00）
青森西―工大二（11・30）
三農―弘学聖愛（14・00）

試合速報

野西 小刻みに加点

【青森工―八学野西】７回八学野西無死二塁、桧山空良が適時打を放ち６―０とし、三塁へ滑り込む＝青森市営

青森工	0	0	0	0	0	0	0	0
八学野西	0	0	1	1	2	1	2x	7

（7回コールド）

（青）田中、佐々木、上町、今村―木村

（八）菅野―白石健

▽三塁打　桧山（八）▽二塁打　桧山、坂本（八）▽試合時間　2時間0分（球審＝滝田、塁審＝工藤学、中村博、菊池）

【評】八学野西は三回1死二、三塁で、細井の犠飛で先制。五回に菅野の中前適時打と敵失で2点を加えるなど、小刻みに得点して攻撃の手を休めなかった。先発菅野は安定した投球で、7回無失点。青森工は、投手陣が打たれ、粘れなかった。

「自分らしい打撃」

○…八学野西は打線がつながり、コールド勝ち。下位打線ながら初スタメンの桧山空良が4安打と好機を演出。「自分らしい打撃ができた」と満足そうな表情を見せた。

桧山は四回に先頭打者で、左前打で出塁し、味方の適時打でホームイン。七回には無死二塁からダメ押しとなる、センターの頭を越える適時三塁打を放った。

昨秋から背番号は2桁で、スタメン起用はなかった。冬に打撃フォームを改良し、得意なストレート打ちを強化。今大会直前に背番号3をもらった。好調な桧山は「次の試合も打って勝利に貢献したい」と意欲十分だ。

青森工・今村圭太（七回に4四球などでサヨナラ負け）「気持ちが空回りしてしまった。最後の押し出し四球は本当に悔しい」

【八学野西】		打	安	点	振	球
⑧	佐々木廉	2	0	0	0	3
④	金浜	2	1	2	0	2
②	白石健	3	2	0	0	1
⑦	舘	2	0	0	0	1
⑤	坂本	3	1	1	0	0
⑥	細井	3	0	1	0	0
⑨	田沢	3	0	0	0	1
③	桧山	4	4	1	0	0
①	菅野	2	2	1	0	0
H	佐々木駿	0	0	0	0	1
R	細越	0	0	0	0	0

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
5	2	0	0	13	24	10	6	0	9

投手	回	打	安	振	球	失
田中	4 2/3	27	8	0	3	4
佐々木	1/3	1	0	0	0	0
上町	2/3	4	1	0	2	1
今村	1/3	6	1	0	4	2
菅野	7	26	3	0	2	0

デーリー東北新聞社提供